

アメリカ 多様性と違いの尊重

4月23日(火) 広峰小学校で国際理解出前講座を実施し、5年生113名が参加しました。

今回の講師は、アメリカ・インディアナ州の大学院への留学経験をもつ黒川衣代さんです。

「アメリカは大きい！」広大な国土はもちろんのこと、アメリカ人と日本人の平均身長や体重の違い、食べ物や飲み物のカップの大きさなど、すべてにおいてビッグサイズのアメリカが紹介されました。

黒川さんはバッグの中から赤ちゃんの顔ぐらいありそうな大きさのマフィンと日本で見かけるマフィンを手を持ち、2つを比較されました。子どもたちは、その大きさの違いに驚いていました。

また、多民族国家アメリカでは、「黙っていたらわからない。相互理解のためには、自分の意見や考えを述べなければいけない」というお話をされました。日本のように「察する」文化ではないこと、どちらが良いとか悪いということではなく、その違いについてご自身の経験談を交えてお話されました。

アメリカは学校生活でも自身で選択することが多く自由度は高いが、その選択には常に責任が伴います。スクールランチもたいていの場合ビュッフェスタイルで、好きな物を好きなだけ食べられる反面、その弊害としての肥満も問題になっているなど、問題点の指摘もありました。

真剣にメモを取りながら聞いていた児童たちには様々な文化に触れて、いろいろな価値観を共有し、尊重できる未来を作ってほしいと願います。

